

【平成 24 年度・前期学期・ミクロ経済学 I・課題 5】

☆ 締め切り：平成 24 年 7 月 17 日講義開始時

【問 1】消費者が、所与の予算を使いきって、X 財と Y 財の 2 財を消費する場合、予算線は

$$M = P_x \cdot X + P_y \cdot Y$$

で与えられる(但し、 M は総予算、 P_x は X 財の価格、 P_y は Y 財の価格、 X は X 財の消費量、 Y は Y 財の消費量を表す)。これを参考に次の場合の予算線のグラフを、同一の平面上に書きなさい。(ヒント：縦軸に Y 、横軸に X を取ること。予算線を Y について解いて、グラフにすること)

- (A) $M=1000$ 円、 $P_x= 200$ 円 $P_y=300$ 円
- (B) $M=1600$ 円、 $P_x= 200$ 円 $P_y=300$ 円
- (C) $M=1000$ 円、 $P_x= 100$ 円 $P_y=300$ 円
- (D) $M=1000$ 円、 $P_x= 500$ 円 $P_y=300$ 円

【問 2】次のように需要・供給関数が定められるとき、(1)～(7)に答えなさい。

供給： $Q_s = -4 + 2P$

需要： $Q_d = 18.75 - 1.25P$

- (1) この需要・供給で決まる市場均衡を求めなさい。
- (2) この市場均衡における、消費者余剰、生産者余剰の値を求めなさい。
- (3) この市場で、政府が価格規制を行い、 $P=10$ を最低価格として設定した場合、市場での取引量がどのように変わるか言葉で説明しなさい。また、市場で不均衡が成り立つ場合、どの程度、数量の余剰もしくは欠乏（不足）が生ずるか数値で求めなさい。
- (4) 最低価格が $P=6$ に変更された場合、(3)の問題を繰り返し、答えなさい。
- (5) 今、供給が $Q_s = -17 + 2P$ シフトしたとき、新しい市場均衡を求めなさい。
- (6) (1)と(5)で求められた二つの均衡間の、需要の弾力性を求めなさい。需要は価格弾力的かそれとも価格非弾力的か？
- (7) (1)でもとめた均衡を起点とするとき、価格の上昇は企業の総収入の上昇につながるか下降につながるか(6)の解を用いて答えなさい。